科目ナンバリング	U-LAS02 10007 LJ36						
授業科目名 <英訳>	国語国文学Ⅰ Japanese Philology and Literature I			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 鈴木　隆司		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	月3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

平安時代の多くの文学作品において、「恋愛」「結婚」は主要な素材となっており、当時の「恋愛」「結婚」についての理解は、作品を読解する上で重要である。本講義では、『伊勢物語』『栄花物語』『枕草子』など、平安時代の散文作品を中心に読み、そこに描かれた当時の「恋愛」「結婚」のあり方についての理解を深めていくことを目的とする。

[到達目標]

・平安時代の「恋愛」「結婚」について、文献に即した理解ができる。
・文学作品から読み取れる社会背景について、合理的に分析する能力を養う。

[授業計画と内容]

第１回　ガイダンス
第２回　平安時代の「恋愛」「結婚」についての基礎知識
第３回　『伊勢物語』から「一夫多妻」を考える①
第４回　『伊勢物語』から「一夫多妻」を考える②
第５回　『堤中納言物語』から「通い婚」を考える
第６回　『栄花物語』から「正式な結婚」を考える
第７回　前半のまとめ
第８回　『伊勢集』から「恋愛」を考える（実りのない恋①）
第９回　『大和物語』から「恋愛」を考える（実りのない恋②）
第10回　『栄花物語』から「恋愛」を考える（実りのある恋）
第11回　『枕草子』から「宮廷女房の恋愛」を考える
第12回　『落窪物語』から「婚姻儀礼」を考える①
第13回　『落窪物語』から「婚姻儀礼」を考える②
第14回　後半のまとめ
《期末試験》
第15回　フィードバック

授業の進度は、受講者の興味関心などを考慮して変更することもある。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業時の課題20%、学期末試験（筆記）80%。

国語国文学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

国語国文学Ⅰ(2)

[教科書]

プリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・各回の授業で扱った文章に描かれた「恋愛」「結婚」の諸相について整理しておくことを中心に、丁寧に復習しておくこと。
・授業で扱った文章の前後や関連する章段の文章について読み進めておくことが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]